

1. 開催年月日 平成 29 年 3 月 17 日 (金) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 会議室
3. 出席委員数 7 名 (欠席 2 名)
4. 事業者側出席者数 3 名
5. 議 題
 1. 番組試聴および審議
 2. 放送番組全般について

6. 審議内容

次の番組を聴取し、審議した。

2 月 17 日 (金) 11:00 ～ 12:00
「アラフォー主婦のマンマミーア」
コーナー「みてみて美濃加茂」
パーソナリティ：今村さおり、ワカバヤシグミ

- ・楽しそうな雰囲気伝わってきていい番組だなと思った。今村さんとワカバヤシさんの音量バランスと同時に話す時に声が重なるのが気になった。もう少しゲストの方に詳しく話してもらうようにすると良かったと思う。
- ・ゲストの方は伝えることを全部伝えていたので良かった。仕方がないかと思うがパーソナリティは笑い過ぎだと思った。
- ・いつも仕事をしながら聴いていて、大好き。楽しく聴いている。私もアラフォーなのでごく耳に入ってきて共感するところが多い。今回は旅行の説明に限定されていたが、普段のフリートークも中身があって良い。
- ・聞き取りにくい言葉を確認したり復唱したりするフォローがあるのもっとリスナーに伝わったと思う。また、ゲストと顔なじみの関係が出ていて、お互いに話の内容がわかっているため、リスナーがどのようなことを聴きたいかという観点が少し欠けていた気がする。ゲストの話によく耳を傾けて、伝えたいことをもう一度繰り返す作業が抜けていた印象を受けた。
- ・ゲストの話を上手に引き出しているのはよい印象だった。
- ・全体的には勢いがあっていいが、馴れ馴れしい言葉遣いが気になった。旅を紹介する内容だったが、紹介して終わってしまったので、何を伝えたかったのか。
- ・他にも二人のパーソナリティでゲストを迎え、インタビューの間は片方のパーソナリティが少し引いている番組がいくつかあり、感心して聴いている。ゲストにじっくり話をさせて、それを受けたいうえで一人が受け答えすればもっと聴きやすく、ゲストの話がリスナーの印象に残ったかもしれない。
- ・今村さんの方は控えめな感じで進行していて、好印象だった。ワカバヤシさんは最初、マイクのとても近くで大きな声で笑っていたのが気になった。旅行の紹介は、どの旅先も料金や発着時間など基本的な情報を同じように伝えてほしい。
- ・パーソナリティは一方がインタビューしている間、もう一方が冷静に聴き手となっていれば情報の聞き漏らしを防ぐことができる。二人の掛け合いの方が表にでてしまっていた印象。また、マイクの位置によって笑い声は控えるなどのわきまえがあるともっと良くなる。

2月18日(土) 20:00 ~ 20:30

「せんせい教えて！」

パーソナリティ：宮田大樹、椎名真夕

提供：マウスネット株式会社

- ・「せんせい教えて！」という題名でありながら、今回は先生が1人もいない。昭和時代がテーマだが訊く方も訊かれた方も同世代で平成生まれ。しかし、若い子が聴くのであれば、年上が先生っぽくしゃべるよりも、これはこれでいいのかなという気もした。参加している人も聴いている方も楽しめる「まあいいか」という番組ならばいいのではと思った。
- ・宮田さんはよく知っている。すごく楽しい方で、話も慣れていて上手で、ゲストが上手く説明できないところを上手くフォローしており、進行はいいなと思った。番組タイトルから堅いイメージがあったが、実際に聴くとそうでなかった。しかし、話があちこちに飛びすぎて、メインの話題を設けてそれを掘り下げたり付け足したりした方が聴きやすいのかなと。最終的には昭和と平成の違いが言いたかったのかなととらえた。
- ・この番組は皆のトーンが同じで聴きやすかった。
- ・パーソナリティもゲストも話が上手で声もきれい、音のバランスがとれていて聴きやすかった。オープニングが唐突にはじまるので、タイトルコールの後でも良いのではないかと思った。番組タイトルから、出ている人(ゲスト)は先生だろうという心構えで聴いてしまうので、結局昭和村の話ではなく個人の思いだけで話をしているのはどうか。いくらバラエティでも、養蚕は実際昭和40年代くらいまで行われていたと思うが、知らない人は戦時中の話かなと受け止めてしまう。この番組タイトルであれば、何かを伝えたいということでゲストを扱わなければならないし、昭和村の話だけに特化して掘り下げればよかったのではと思った。
- ・専門性のある職場にある人から話を訊き出す番組かな、と思ったら、昭和と平成の違いについてだったので、ならば昭和の時代をよく知る年代の人を連れてきた方がよかったのではと、所々あれっと思うところもあったが、全体の時間のなかでのまとめはきれいにできていた。
- ・宮田さんがテンポよく進行して聴きやすい番組だと思った。
- ・打ち合わせで確認したこと以外は、突然聞かないようにという指導はしておいた方がよいのではないか。時間が余ったら関連したこういうことを訊きましょう、と決めておくなど。先生として来た人が、よくわからないことでも答えてしまって、全然違うことを言ってしまった、というのが度々あるのではよくない。多少のずれは構わないけれども、まるで違っているということになると、放送にのせてはいけないことだと思う。
- ・今回はタイトルとゲストがミスマッチだったので、過去にも同じようなことがあれば、番組そのものを根本から見直した方が良いのでは。
- ・いわゆる常識的なことは普段から身に付けておいてほしい。あれ？と思ったら口にしない、確認してから話す、ということを気をつけていただきたい。
- ・この放送の雰囲気はとっても良いので、専門的な話を持ち出さなければいい。若い女性が聴くには楽しい雰囲気が伝わるのが大切だと思う。間違っていなければいいか、という雰囲気で続けてほしい。

2. 放送番組全般について

- 御嵩町民なのでモーニングライン火曜日を積極的に聴いている。パーソナリティのしゃべり方は御嵩弁で親しみやすいが、語尾の癖が気になり、気になりはじめるとそればかり気になってしまう。改善できるとよい。
- 好みだと思うが、あ、聞こうという番組と、あ、やめたいと思う番組がある。
- 役場職員の方が最近慣れてきて、とてもいい雰囲気ですしゃべられるのが良い傾向だと思う。話の引き出し方もよくなってきて、スムーズに品よくしゃべられるので良いなと感じている。
- 前回審議した井上くんの番組を聴いて、井上くん自身がすごく恐縮して自分の言葉のことからしゃべり方についてまで…聴いていて申し訳ないくらい反省していたので、それだけ先日の審議会の言葉が伝わっていたのかなと思ってしまった。井上くんは番組を卒業するが、うまく次の人が引き継いで、審議会でダメ出しがでないようにしてもらえると。せっかく若い子がやりたいと思ってやってくれているので、やる気をそいでしまわないような指導をしてほしい。
- 前回、「あかりい話」が原稿読みという指摘があったので、できるだけフリーに話すようなやり方に変更して、以前より聴きやすくなった。審議会のおかげだと思う。
- 番組のメニューがバラエティに富んで、全体的に良くなった印象がある。5年間に渡って色々充実したなと今回特に思った。
- 番組のエンディングを余裕をもって締められる人、時間がなくなってギリギリになってしまう人、両方ある。ラジオを聴いている人は曲もしっかり聴きたいという期待があると思うので、曲を20～30秒だけで切ってしまうことがないように、エンディングを大切にしてほしい。

以上の意見が出され、全員承知した。